令和6年度都立世田谷泉高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	・語彙力を高める指導の充実 ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実	・年度当初の教科会で年間指導計画について共有し、指導項目について確認する ・1年次必履修科目「現代の国語」の授業において、毎週漢字の小テストを行う	・重要な語句についてはその都度確認する ・教員対生徒、または生徒同士が意見を述べ合う場面を増やし、コミュニケーション力を高められるようにする
地理歴史	広い視野に立ち課題を追究する	・毎回の授業で問いの設定や考察などの学習活動を行う ・毎回の授業終了時に振り返りを行い学習内容や到達度を確認する	・日本史探究、世界史探究、地理探究などの発展科目においては、資料の比較や調べ学習の時間を設定し、多面的・多角的に考察する
公民	公民的資質・能力の育成	・主権者教育の実施 ・主体的・対話的で深い学びの実践	・新聞読解課題の実施（公共） ・思想に関する読書課題（倫理） ・哲学対話の実施（倫理）
数学	数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動	・事象を数学的に捉え、数学の問題を見いだせる教材の開発 ・ それぞれの生徒の理解度に合わせた難度の活動を重視した授業を実施	・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりする活動を取り入れた授業の実施
理科	科学的な見方・考え方を踏まえた学習活動の充実	考察・推論したことや結論についての振り返りを毎回実施	学習成果発表会において、科学的な見方・考え方を踏まえた学習活動の成果を発表する
保健体育	健康の保持増進	・安全に運動を行う能力の育成 ・ライフプランに組み込む運動の発見	・自己の能力を理解し新たな意欲を増す ・スポーツテストのデータを基に次なる目標を設置する ・持久力向上に力を入れ、複数の運動に取り組む
芸術（音楽）	「表現すること」の指導の充実	・自身の表現を「人に伝えるには」という視点での実技指導の実施 ・鑑賞の活動や授業の振り返りで感受したことを言葉で表現する活動を繰り返し取り入れた授業の実施	生涯にわたり芸術を愛好するため、他者の着眼点や感性に触れて自身の感性を高め、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく授業の実施
芸術（美術）	幅広い創造的な芸術活動の充実	・ICTを活用した導入・課題作成の実施 ・主体的、対話的な鑑賞活動を実施 ・メタ認知を育成する年間4回のテスト、毎授業後の振り返りシートを実施	・文化祭、学習成果発表会にて生徒作品の展示、発表を実施 ・到達度を明確にさせ、評価するためのルーブリック評価表の開発・活用
芸術（書道）	古典作品の臨書	・各古典作品の臨書・鑑賞	・紙面構成を考え、創作作品を制作
英語	声に出して「話すこと」の指導の充実	・各学期に2回スピーキングテストを実施 ・CAN-DOリストを見直し、生徒の実情に合わせて改善を図る。 ・授業内で声に出して「話すこと」についての活動を実施	・JETと1対1で会話する ・教科書の英文を暗唱音読する ・1分程度の自由会話をペアで行う
家庭	生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と技能を身に付ける活動	・非認知能力の育成を基本とし、学習の到達度を明確に示し、個に応じた学習方法を実施する ・実習を多く取り入れ、体験から学習を深める	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて生活を主体的に創造しようとする実践的な学習の実施
情報	情報社会を正しく生き抜くために必要な、知識・技能を身に着ける	・教科書のみならず、実社会で起きている事例も参考に取り組む ・FORMS棟を活用し、生徒の実態把握を行うと共に、実態に沿った授業を展開売る ・影の部分も具体的に説明し、抑止とする	・時代の進展に即し、旬な教材をその都度、取りいれ、対応する ・オンライン教材等の教材開発を継続し、学びの遅れが出ないよう、基盤づくりを行う
工業	・ものづくりの基礎基本の習得 ・安全教育の徹底	・専門的な工作機械に触れさせ、ものづくりに関する基礎基本的な作業方法を指導する ・危険な作業に関しては、安全教育を徹底して行い、ケガのないように授業を実施する	・汎用機だけではなく、CAD/CAMや自動加工機、Arduinoなどといった現代の一般的なものづくりについて指導を行う
総合	自助・共助から新たな価値の創造と、よりよい社会の実現に向けた素養を育てる	・テーマ別ディスカッション ・体験活動	・教科横断的な視点、立場の取り入れ ・活動結果の共有と、求められる活動の在り方の引継ぎ